

平成20年度

研究のあゆみ

「えがお ちょうせん いきいき」

—協同的な学びをめざして—



柏市立教育研究所
柏市立かしわ幼稚園

研究の概要

1 主題設定の理由

16・17・18年度共同研究から

- ・ 幼保から小への滑らかな接続のためにはコミュニケーション能力の育成が重要。
- ・ 学びの連続性を踏まえた教育内容についての研究を深め、日々の保育や教育の中で実践していくことが大切。

中央教育審議会（答申）から

- ・ 小学校入学前の主に5歳児を対象として「協同的な学び」についての取り組みを推奨。

「幼児教育内容における接続の改善」

- 遊びの中での興味や関心にそった活動から、興味や関心を活かした学びへ、さらに教科等を中心とした学習へのつながりを踏まえ、幼児期から児童期へ教育の流れを意識して、幼児教育における教育内容や方法を充実 —

「就学以降の学びの基礎となる力」の捉え方

- ・ 人とかかわる力 → 「えがお」
- ・ 好奇心・探究心 → 「ちょうせん」
- ・ 表現力 → 「いきいき」

2 研究の目標と内容 ～協同的な学びをめざして～

目標

- ・ 協同的な活動を中心に、人やものについての理解や関心を深め、人とかかわる力や好奇心・探究心、表現力を育てる。
- ・ 学びの連続性を踏まえたカリキュラムを作成し、協同的な学びによる幼保小の滑らかな接続と連携を進める。

仮説

- ・ 友達や様々な人とかかわりながら一緒に物事をやり遂げていく活動を通して、喜びや悲しみを共感し合い、人の話を聞く力や自分の思いを伝える力が育っていくだろう。
- ・ 一人一人の興味・関心を大切に、その実現のために友達と一つの目標に向かって協力工夫して解決していく体験を積み重ねていくことにより、好奇心・探究心が高まっていくだろう。
- ・ 協同的な活動の中で人やものについての学びを深め、心を動かすような体験を積み重ねていくことにより、自分の思いを様々な方法で表現していくだろう。

内容

- * 幼児期から児童期への発達の特性を把握（実態把握、幼保相互理解）
- * 就学以降の学びの基礎となる力と協同的な学びの在り方の共通理解（年間指導計画の見直し）
- * 協同的な学びをめざした保育内容の見直し（カリキュラム開発、実践事例の検討）
- * かかわりを深める活動（大積み木、当番活動、ゲーム 等）
- * かかわりを深める交流（幼保交流、幼保小交流、未就園児との交流 等）
- * かかわりを深める研修（幼保合同研修会、幼保小合同研修会、出前授業、相互参観 等）

<テーマの共通理解>

えがお（人とかかわる力）

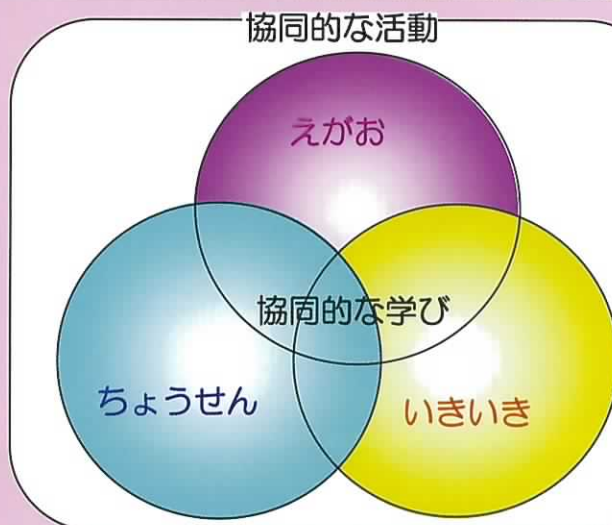
- ・ 友達の思いを聞き取れる子
- ・ 自分の思いを言葉で相手に伝えられる子
- ・ 喜びや悲しみを共感し合える子

ちょうせん（好奇心・探究心）

- ・ 元気いっぱい夢中になって活動する子
- ・ 進んで見たり聞いたり試したりする子
- ・ あきらめないうでやり遂げる子

いきいき（表現力）

- ・ 楽しく工夫する子
- ・ 自信をもって行動する子
- ・ 豊かな感性を持ち、感動を伝えられる子



3 幼稚園教育要領の改訂と「発達や学びの連続性を踏まえた幼稚園教育の充実」

◆ 幼小の円滑な接続

- 幼稚園教育の基本に基づく幼稚園生活より、義務教育及びその後の教育の基礎が培われることの明確化
- 幼稚園と小学校の教師が幼児と児童の実態や指導の在り方について相互理解を深めること、幼児と児童の交流を図ること
- 協同する経験を重ねること（幼児同士が共通の目的を生み出し、協力し、工夫して実現していく）
- 規範意識の芽生えを培うこと（体験を重ねながらきまりの重要性に気づく）

◆ 子どもや社会の変化への対応

- 多様な体験を重ねる中で、それら一つ一つの体験の関連性を図ること
- 言葉による伝え合いができるようにすること
- 友達とともに遊ぶ中で、好奇心や探究心を育て、思考力の芽生えを培うこと
- 体を動かすこと、食に関する活動を充実すること
- 表現に関する指導を充実すること
- 自信をもって行動できるようにすること



4 今年度の重点 ～「協同的な学び」と「ちょうせん」～

◆ 「協同的な学び」について

↓ 協同的な活動を通して「就学以降の学びの基礎となる力」を育成

◆ 今年度の重点

↓ **ちょうせん** **好奇心・探究心**

- ・元気いっぱい夢中になって活動する子
- ・進んで見たり聞いたりためしたりする子
- ・あきらめないでやり遂げる子

◆ 協同的な活動の中で「好奇心・探究心」と「言語力」の育成をめざす

◎「好奇心・探究心」の育成について（領域「環境」を中心に）

周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていくとす力を養う。

- 遊びを通して身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもてるようにする。
- 身近な環境に自らかかわり、発見を楽しんだり考えたりし、それを生活に取り入れていくようにする。
- 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにしていく。

◎「言語力」の育成について

○身近な事象や動植物に対する発見や感動を言葉で表現するとともに、共感し合えるように人の話にも興味をもって聞くことを通して、言葉による伝え合いができるようにする。

月	今年度のテーマに向けた保育活動		交流会活動（★交流の重点）	教職員の交流・合同研修 等
	継続活動 「自然となかよし」	重点活動 「めざせ！わくわく博士」	幼保・幼保小・地域との交流 「みんな なかよし」	
4	春となかよし ○春のずかん			研究協力の依頼 ・あけぼの保育園 ・柏第四小学校
5	○虫と友達① 「アリ」「ヤゴ」	○いろみず博士 ○かみひこうき博士 ○シャボンだま博士 ○かざぐるま博士	第1回幼保お散歩交流 「さつまいもの苗を植えよう」 なかよし広場1「いっしょに体操」 ★第1回幼保小交流活動 「2年生からヤゴのプレゼント」	第1回合同研修会(幼保) ・会場 市立かしわ幼稚園 ・今年度の研究について 幼保小交流打合せ
6	○春のネイチャーゲーム 「幼稚園の木となかよし」 夏となかよし	○そめもの博士	★第2回幼保小交流活動 「1年生と校庭たんけん」 なかよし広場2「シャボン玉遊び」	幼保お散歩交流打合せ
7	○夏のずかん ○虫と友達② 「カイコ」「アオムシ」 ○夏のネイチャーゲーム 「葉っぱのカモフラージュ」	 ○ハンカチ博士	第2回幼保お散歩交流 「宝さがしをしよう」 なかよし広場3「インタビューごっこ」	
8				柏市教職員夏季研修講座 (幼保小関連内容講演)
9	秋となかよし		なかよし広場4「運動会ごっこ」	第2回合同研修会(幼保小) ・会場 柏第四小学校 ・交流会の反省と計画
10	○秋のずかん ○虫と友達③ 「スズムシ」「コオロギ」 ○秋のネイチャーゲーム 「サツマイモのつるの長さ比べ」	○ストローとんぼ博士 ○人形げき博士 ○秋博士	★第3回幼保小交流活動 「1年生といっしょにあそぼう」 第3回幼保お散歩交流 「芋ほりをしよう」 なかよし広場5・6「コーナー遊び1・2」	幼保お散歩交流打合せ
11		「わくわく博士大作戦」 ○なわとび博士	第4回幼保お散歩交流 出前授業「染め物」 第5回幼保お散歩交流 「やきいもパーティーをしよう」 なかよし広場7「コーナー遊び3」 第6回幼保お散歩交流 「わくわく博士大作戦」	第3回合同研修会(幼保) 柏市幼児教育研究交流会 ・会場 市立かしわ幼稚園 ・保育参観 ・研究発表及び情報交換
12	冬となかよし ○冬のずかん ○魚と友達「サケ」		第7回幼保お散歩交流 出前授業「たのしいきゅうしょく」 なかよし広場8「ベル演奏をきこう」	幼保お散歩交流打合せ 出前授業打合せ (柏四小栄養士)
1	○冬のネイチャーゲーム 「霜柱の大きさ比べ」	○こま博士	地域のお年寄りとの交流 「餅つきとお正月遊び」 第8回幼保お散歩交流 「発表会をしよう」 なかよし広場9「たこ作り」 なかよし広場10「人形劇」	幼保お散歩交流打合せ
2			第9回幼保お散歩交流 「おわかれ会をしよう」	幼保小交流打合せ 研究のあゆみ作成
3			なかよし広場11「おわかれ会」 ★第4回幼保小交流活動 「1年生と学校たんけん」	今年度の研究のまとめ

春となかよし

春のずかん



園庭や家の回りで春をさがし、皆で「春と友達ずかん」を制作。



虫と友達

(アリ) 飼育しながら巣を作る様子を観察。
(ヤゴ) 柏四小の2年生からもらったヤゴ。トンボになるまで観察。



春のネイチャーゲーム



親子でさがそう
「幼稚園の木となかよし」

夏となかよし

夏のずかん

園庭で夏野菜を育て観察日記をかく。また、ピワの木やカブトムシ等も様々な素材で制作。



虫と友達



(アオムシ) きれいなアゲハチョウが誕生。
(カイク) あげぼの保育園から貰ったカイクを飼育。繭でコサージュを制作。

やからさがし
「葉っぱのカモフラージュ」



夏のネイチャーゲーム

自然となかよし

自然と出会い、感動する体験を通して

秋のずかん



園庭には実のなる木がいっぱい。秋の園庭を壁面制作。

虫と友達

(スズムシ) 図鑑でえさや飼い方を調べて飼育。
(コオロギ) 園庭で見つけ、雄と雌の違いやスズムシとの違いも観察。



秋のネイチャーゲーム



木の長さ比べ
「のびたよ! サツマイモのつる」

冬のずかん



冬でも様々な植物や昆虫を発見! また、春に向けてパンジーを栽培。

鮭と友達



(サケ) 11月にサケの卵をもらい、クラスごとに飼育。卵から稚魚が誕生し、1月末に利根川に放流するまで観察。

霧柱の大きさ比べ
「霧柱さがし」



冬のネイチャーゲーム

秋となかよし

冬となかよし

めざせ！いろみず博士

花を水の中で揉んでの色作りに始まり混色も挑戦。配合による色の予想からジュースやさんごっこに遊びが発展していった。



めざせ！そめもの博士

色水遊びの経験から、花をたいて紙に色をうつし出す活動へ。花の種類の違いで色の出具合にも違いがあることに気づいていった。



めざせ！シャボン玉博士

皆で遊びながら、息の吹き加減を工夫して、シャボン玉のでき方を観察。輪の大きさを変えて、大きなシャボン玉にも挑戦した。



めざせ！かざぐるま博士

取っ手をつけなくて、羽根だけでも落ちるときに回転することを発見。羽根の形の違うことによって回転に違いがでることに気づいた。



めざせ！わくわく博士

環境に積極的に
かかわる体験を通して

＜様々な博士が誕生！＞
友達同士で教え合ったり、保育園やなかよし広場のお友達との交流会で教えながら一緒に遊んだり、活動が広がっていった。

めざせ！かみひこうき博士

速く飛ぶ紙飛行機や長くゆっくり飛ぶ紙飛行機に挑戦。紙飛行機の形や紙質、飛ばし方によって飛び方に違いがあることに気づいていった。



めざせ！ストローとんぼ博士

風の力によるものではなく、回すことで飛ぶという動きを発見。回転の向きによって飛んでいく方向も違っていくことに気づいた。



めざせ！にんぎょうけ博士

最初は個々に楽しんでいた人形遊び。友達とのやりとりが生まれ、人形劇ごっこへと発展。台を用意すると、楽しい経験を劇にするなど工夫していった。



めざせ！あき博士

1年生にどんぐりマラカスを教えてもらった後は、様々な秋の素材に関心が向き、どんぐりごま、松ぼっくりけんだま、芋づるのリース作りなどにも取り組んだ。



めざせ！ハンカチ博士

内気な子がハンカチ折り遊びを教師や友達に教えることによって多くの友達へと広がっていった遊び。楽しさを共有する中で人とかわる力も成長。



めざせ！なわとび博士

運動会のごほうびとしてもらった縄。なわとび進級表をもとに全員で取り組み、興味の持続や頑張りが目標達成につながるという経験ができた。



めざせ！こま博士

紐の巻き方と回転の関係に気づき、安定した回転を目指して練習する姿が多くなる。友達同士で同じ目標をもち、競い合う楽しさを味わった。



幼保小交流会(年4回)



2年生からヤゴのプレゼント

5月27日(火)

《柏第四小学校 プール》
プールでつかまえたヤゴ
をもらって帰り飼育する。

1年生と一緒に遊ぼう

10月27日(月)

《柏第四小学校 体育館》
体育館でどんぐりマラカ
ス作りを教えてもらい、
歌やダンスを楽しむ。



交流会で楽しかった
ことを絵に描いたり、
お礼の手紙を書いたりする。



★主なねらい★

回を重ねる中で無理のないように段階を経ながら交流を深め、小学校が身近に感じられるようにする。

1年生と校庭たんけん

6月10日(火)

《柏第四小学校 校庭》
グループごとに1年生
の案内で校庭を探検し、
一緒に遊ぶ。



校庭探検で発見した
ものを、皆で絵に描いて
「たんけん地図」にする。



1年生と学校たんけん

3月9日(金)予定

《柏第四小学校 校舎内》
グループごとに、1年生の
案内で校舎内を探検する。



みんな なかよし

人や環境に進んで動きかけ、
かかわりを深める交流を通して

幼保交流会(年9回)

★主なねらい★

幼保の園児が互いの園を行き来して交流を深め、就学に向けての楽しい体験を共有していく。



わくわく博士大作戦!

11月26日(水)

あけぼの保育園年長児を
招待しての交流。様々なコ
ーナー毎に、わくわく博士
が教えながら一緒に楽し
く遊ぶ。

栄養士の永井先生による 食育「楽しい給食」

12月9日(火)

柏四小栄養士の永井先生
に来ていただき、幼稚園
児や保育園児、保護者
に向けて給食の出前授業
を実施。



なかよし広場(年11回)

★主なねらい★

異年齢児とかかわり合いながら楽しく遊び、年上として自覚を持ち進んでかかわれるようにする。

コーナー遊びを楽しもう

10月29日(水)

自分のやりたいわくわく
博士のコーナーで、来園児
に遊び方を教えながら、一
緒に楽しむ。



地域のお年寄りとの交流

★主なねらい★

地域のお年寄りと、お正月遊びや餅つきを楽しむ。
お客様に対する礼儀やマナーを守り、思いやりのある態度を身につける。

お餅つきとお正月遊び

1月14日(水)

幼稚園に地域のお年寄りを招待して交流する。



自然となかよし

- 小さなことに対しても疑問を持ち、それを解決しようと教師や保護者に聞いたり、自分から図鑑で調べたりする姿が見られるようになった。身の回りの様々な自然に触れる機会を多くしていくことで、子どもたちの興味・関心がより広がった。
- 教師や保護者も子どもと同じ目線で動植物を観察するようになり、子どもと一緒に共感したり考えたりするようになった。
- 子どもたちは様々なものに興味をもち、観察したり調べたりしていたが、行事などで教師が忙しくなると、一緒に考えてあげることができないことがあった。

めざせ！わくわく博士

- 友達と一緒に活動していく中で、互いにアイデアを出し合ったり工夫したりする姿が見られるようになり、遊びが深まっていった。また、わくわく博士として教え合うことにより、様々なことに興味を示し、自分から進んでかかわろうとする姿が多くなった。
- 「なぜだろう」「不思議だな」と思う機会が多くなることで、日々の生活の中でも考えたり疑問をもったりするようになった。
- 興味のもち方が一人一人違うので、取り組み方や体験にも違いが出てしまう。どの子にも興味をもてるような環境設定の難しさを感じた。

みんななかよし

- 交流会のめあてを子どもたちにも明らかにし、事前指導や事後指導を充実させることにより、好奇心・探究心を深めていくことができた。
- 発見したり考えたり試したりする体験を大切にしたい交流会を通して、人とかかわる力だけでなく、好奇心・探究心も育てることができた。また、自分が興味・関心をもった遊びを、わくわく博士として「幼保交流」や「なかよし広場」のコーナー遊びで教えていくことで、より探究心が深まるとともに、一人一人の自信につながった。
- 様々な交流や活動を通し、思いや発見・感動を自分なりの言葉で表現したり、互いに共感したりするようになり、相手の話を聞こうとする力が育ってきたが、個人差が大きくまだ十分ではない子も見られる。一人一人を大切にしたい支援の必要性を感じた。

柏市立かしわ幼稚園
柏市立教育研究所

協力

柏市立あけぼの保育園
柏市立柏第四小学校

* 発行者・お問合せ先 *

柏市立教育研究所

〒277-8503 千葉県柏市大島田 48 番地の1 (TEL) 04-7191-7387

柏市立かしわ幼稚園

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田 1 1 9 (TEL) 04-7143-1523

発行日 平成21年3月